

日鐵防風柵

実績写真集

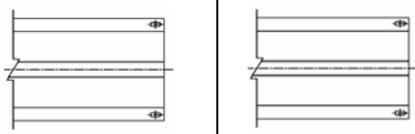
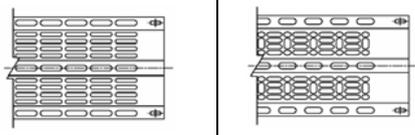
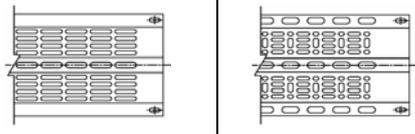
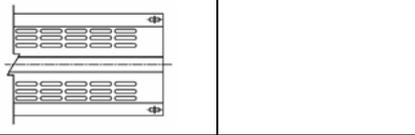
INDEX

パネルのバリエーション	1
実績写真集	
港湾防風柵	2
鉄道防風柵	5
防塵柵	7
防砂柵	9
意匠材	11

株式会社 ニッケンフェンス&メタル

パネルのバリエーション

パネルの種類および摘要

名称	開口率	特長及び適応箇所	摘要					形状	
			防風	防砂	防塵	防雪	防波	建築	65H シリーズ
無孔板	0 %	孔が開いていない為、目隠しや隙間隠しに適しています。							
有孔板	40 %	65H、68Hシリーズがあり、透過性もよく防風柵・防塵柵、建築材等に適しています。							
	30 %								
	20 %								
	33 %		サイズの小さい孔で構成されており、防塵柵・防砂柵、建築材等に適しています。						

パネルの材質および表面処理

名称	材質	表面処理	特徴
一般構造用圧延鋼材 t = 1.6mm	SS400 (JIS G 3101)	溶融亜鉛めっき HDZ35及びHDZ40	最も一般的な使用方法、耐候性・価格面に優れています。
ダイマジンク t = 1.6mm	NSGHM400	プレめっき材 M90(片面450g/m ² 以上)	極厚目付高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板で、耐候性に優れ後めっきと同等価格です。
ステンレス t = 1.2mm	NSSC220M	-	耐候性に非常に優れ、海浜部など特に厳しい環境に設置するのに優れています。
樹脂 t = 3.0mm	ポリカ - ボネート	両面耐候処理	透過性に優れ、設置場所の環境との調和等、デザイン性に優れています。
塗装の場合	ポリエステル樹脂系粉体焼付塗装	30 μ 以上	塗装を施すことにより、耐食性が向上し、環境との調和が図れます。

ダイマジンクは、新日本製鐵(株)の製品で、後めっきを上回る高耐食性を実現した材料です。

実績写真集

港湾防風柵

熊本港 防風柵



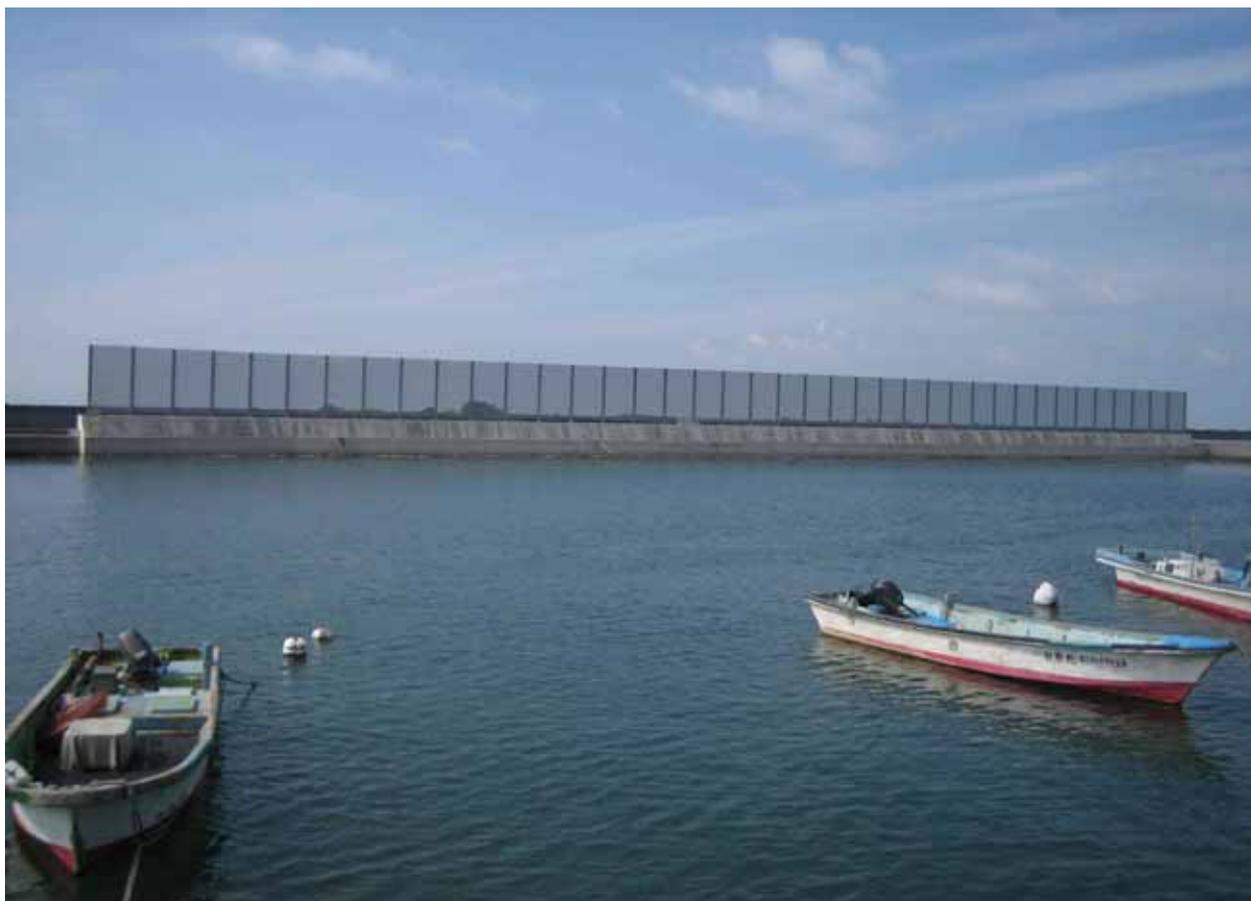
写真の左側(風上)は、白波が立つほどの強風が吹き、水しぶきでコンクリート面が濡れるほどですが、右側(風下)は、防風柵に護られて穏やかな水面になっています。



福岡県 苅田漁港 防風柵



大分県 真玉漁港 防風柵



鉄道防風柵

JR京葉線 花見川橋梁 防風柵



JR東北本線 栗橋・古河間 防風柵(利根川橋梁)



防塵柵





防砂柵





意匠材





(桁下化粧板)

